

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	西宮市立浜甲子園中学校 教諭 木田 重果	研究グループ名 (教師コーチング研究会)
-----------------	-------------------------	---------------------------

研究テーマ分類番号 (17)

(1)研究テーマ

教師のナラティブ研究

(2)研究経過及び具体的な取組

5月25日 実践交流会

- ・場 所：打出教育文化センター
- ・内 容： 若手教員との協働について
気になる生徒への対応

8月21日 実践交流会

- ・場 所：打出教育文化センター
- ・内 容： 授業研究の事後研究会のあり方について
教師の力量について

9月29・30日 日本臨床教育学会での調査研究

- ・場 所：都留文科大学
- ・内 容： 記念講演
『ナラティブ的探究 (Narrative Inquiry) の可能性 動きの中
で多様な人生をとらえる 』
講演者：アルバータ大学教授
自由研究発表
- ・成果と課題：教師のみならず、他の発達援助職（保育士、看護師、心理職等）
の取り組みを聞くことができ、現代の子どもを取り巻く環境と
その中での教師の役割を考えることができた。子どもの声を聴
く営みの方法論について研究する必要があると感じた。

10月19日 実践交流会

- ・場 所：打出教育文化センター
- ・内 容：教師の教育観の違いについて

【成果と課題】

教師自身が教育実践を語ることを通して、内省を図ると同時に、聴き手の教育観も振り動かされ、教師としての力量をあげていく。ナラティブ研究とはその過程や成果を分析することとなる。実践交流会の場が「学習共同体」としての機能を有している実感を得る事ができた。今後はその「語り(ナラティブ)」の詳細な分析を通して、語りの引き出し方、語りの意味付け方、等を考えていきたい。